

令和7年度第3回 旭川市上下水道事業審議会会議録

日時	令和8年1月28日(水)午後6時～午後7時5分
場所	旭川市上常盤町1丁目 旭川市水道局庁舎4階 第2会議室
出席者	<p>○旭川市上下水道事業審議会委員(定数 14人) ※五十音順  出席 11人(岩館委員、柏葉委員、後藤委員、斉藤委員、  佐々木委員、杉村委員、田畑委員、富田委員、  成田委員、橋本委員、吉田委員)  欠席 3人(遠藤委員、福井委員、山田委員)</p> <p>○水道局 13人  幾原部長、松田次長、山田次長、熊澤課長、十川課長、稲場課長、  松本課長、原課長、黒川所長  (経営企画課)杉山補佐  (下水道施設課)堀田主幹  (総務課)多田係長、石山主査</p>
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者	1人(報道機関 1人)
会議内容	<p>1 開会  2 議事  (1)次期「上下水道ビジョン及び財政計画」の策定について  ア 今回の審議会の位置づけ  イ 策定を早期に開始する背景  ウ 次期ビジョンの基本定な考え方(案)  エ 今後の進め方(予定)  オ 次回審議会の開催予定  (2)ウォーターPPP 導入検討について  (3)その他  3 閉会</p>
会議資料	<p>・資料1 旭川市上下水道事業審議会委員名簿  ・資料2 次期「上下水道ビジョン及び財政計画」の策定について  ・資料3 ウォーターPPP 導入検討について</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
1 開会	事務局	定刻となりましたので、ただいまから、令和7年度第3回上下水道事業審議会を開会いたします。
(新任委員紹介)	事務局	まず初めに、新任委員の佐々木様から、一言ご挨拶をお願いいたします。
(出欠報告)	事務局	委員14名中11名が出席となっておりますので、審議会規定第5条第2項に基づき、本会議は成立することを報告します。
2 議事 (1)次期「上下水道ビジョン及び財政計画」の策定について	会長	これより議事に入ります。 (1)次期「上下水道ビジョン及び財政計画」の策定について事務局より説明願います。
	事務局	(資料2に基づき説明)
	会長	ただいま事務局より報告がありましたが、御意見・御質問はございませんか。
	委員	(意見なし)
	会長	議題(1)次期「上下水道ビジョン及び財政計画」の策定については終了いたします。
(2)ウォーターPPP 導入検討について	会長	次に、(2)ウォーターPPP 導入検討について事務局より説明願います。
	事務局	(資料3に基づき説明)
	事務局	<p>補足説明をさせていただきます。</p> <p>次回の審議会の開催予定についてですが、議題(1)次期「上下水道ビジョン及び財政計画」の策定についての中では、5月下旬から6月下旬に次回会議を予定しているとの説明がございましたが、ウォーターPPP に関する次回の審議会につきましては、水道局内での検討結果が整理でき次第、場合によっては年度内に開催する可能性がございます。会議の開催準備が整いましたら、改めてご連絡させていただきますので、よろしく願いいたします。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	会長	ただいま事務局より報告がありましたが、御意見・御質問はございませんか。
	委員	国からの財政支援を受けるために、レベル2.5の包括的支援から、レベル3.5の管理・更新一体マネジメント方式を導入することになるかと思いますが、現状も国からの財政支援を受ける要件としてレベル2.5という前提があるのでしょうか。
	事務局	現状は国からの財政支援を受けるために、レベル2.5が要件ということは特にございません。 ウォーターPPPの導入に関わり、令和9年度以降、国から財政支援を受けるための要件としてレベル3.5を実施することが求められている状況でございます。
	委員	もともと旭川市はレベル2.5の包括的委託を実施していたのでしょうか。
	事務局	下水処理センターの維持管理、メンテナンスとしては、平成20年からレベル2.5の包括的委託に取り組んでおります。
	委員	ウォーターPPP 導入検討については下水道についての御説明であったかと思えます。 さきほど、議題(1)では上下水道を一体化していくという話がありましたが、そこから考えると上水道も下水道と同様に老朽化や技術職員不足などの事態になっているのではないかと考えます。 ウォーターPPP 導入にかかわって上水道についてはどのように考えたらいいのでしょうか。
	事務局	上水道に関しても下水道と同様の状況になっておりますが、ウォーターPPP の導入に関しては、上水道は対象になっていない状況でございます。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	委員	<p>以前審議会で話を聞いたときに、管の耐用年数も含めて上水道の方が短いという話がありました。衛生的なものを供給する場合、上水道から先に始めて、下水道が後になるのではないかと単純に考えます。</p> <p>下水道も大事ですが、上水道は飲む、直接口にするものなので、管の耐用年数が過ぎていることから、両方一緒に対応したらいいのではないかと思います。</p> <p>下水道を導入するというのは国の方針なのでしょうか。それとも、旭川市の都合なのでしょうか。</p>
	事務局	<p>国から示されているウォーターPPP につきましては、手探りの状態が続いている状況でございます。</p> <p>下水道から先に対応しておりますのは、令和9年度以降、国からの財政支援の対象として、ウォーターPPP の導入が要件化になることが大きな要因となっています。</p>
	委員	<p>国の方針によるということですね。</p> <p>上水道のほうが衛生面での管理を行き届かせないといけない、耐用年数も短いという意味では市民としては心配だと思います。</p> <p>今回は下水道から先に検討して、その次に上水道ということですね。</p>
	事務局	<p>まずは下水道から検討をするということになっております。</p>
	委員	<p>これは予算の関係なのでしょうか。</p>
	事務局	<p>下水道は管の更新や処理場の更新などにかかわって、国からの財政支援が2分の1の補助となっております。</p> <p>国からの財政支援の対象から外れてしまうと、管の更新を実施するにあたり、市民の負担が2倍になってしまいます。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	事務局	<p>ウォーターPPP に関わりましては、下水道が先行して実施しているという状況がございます。</p> <p>上水道につきましては、令和6年の春、国土交通省に事務が移管されたことに伴い、国のほうでは、上下水道政策の基本的なあり方検討会を設置し、上下水道一体で考えることについて検討している最中でございます。</p> <p>今後、旭川市としては、国が設置した検討会の動向を注視して、対応していくことになるかと思っておりますが、まずは、財源の確保のため、下水道のみ、ウォーターPPP 導入を検討しているところでございます。</p>
	委員	<p>国がいま検討段階に入っているということですね。</p> <p>埼玉県事故もありましたので、下水道を優先するという考え方なのですね。</p> <p>ウォーターPPP は民間事業者の力を借りて運営していくということかと思っておりますが、これはうまく運営されていくのでしょうか。</p> <p>採算面、料金面などで市民に負担は及ばないのでしょうか。</p>
	事務局	<p>民間事業者でさまざまな課題を抱えている面はあるかと思えます。</p> <p>そのようななか、ウォーターPPP においては民間事業者の柔軟な発想、スケールメリットを活かしながら、よい方向で施設の運営ができないかということで、事業を進めようとしている状況でございます。</p> <p>導入にあたって、市民負担が発生しないかということも視野に入れて検討していく必要はございます。</p> <p>民間事業者にヒアリング調査をし、よく確認したうえで、今後具体的に検討していきたいと考えております。</p>
	委員	<p>次回の検討時に具体的な資料を提示してくれるのでしょうか。</p>

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	事務局	令和8年度中に導入の可否を判断する必要がありますので、できるだけ早く精査し、資料を提示したいと考えております。
	会長	導入することによって、国からの財政支援、2分の1の定額補助があるというのは大きなメリットかと思えます。今後、審議会でウォーターPPP の導入検討という流れになると思いますので、委員の皆様はよろしくお願ひします。
	委員	レベル3.5の管理更新一体マネジメント方式には更新実施型と更新支援型があり、どちらを選ぶのかという話があるかと思えますが、民間事業者はどちらも対応可能ということなののでしょうか。
	事務局	民間事業者の方々には、基本的にはいずれの場合でも対応できるとの回答はいただいておりますが、今後どちらの手法で実施するかについては精査して検討していくことになるかと思ひます。
	委員	民間事業者の意向調査を実施したとの説明がありました。市内業者は市内に本社があるかと思ひますが、市外というのは道内・道外のいずれになるのでしょうか。また、道外事業者の場合は道内に営業所や支社があるところなののでしょうか。
	事務局	市場調査に参加した市外業者というのは、道内・道外両方となっております。道外事業者は、例えば、大手建設会社などであり、全国どこでも対応できるという話は伺っております。
	委員	旭川市を含めた1市5町の旭川広域圏下水道協議会では設備や管理、費用などを協議し、運営していると思ひますが、ウォーターPPP 導入による影響はあるのでしょうか。
	事務局	旭川広域圏下水道協議会は周辺5町と協定に基づいて負担金などを決定していますが、ウォーターPPP の検討は別枠となるので、特に影響はございません。

議事内容等	発言者	発言の要旨等
	会長	議題(2)ウォーターPPP 導入検討については、終了いたします。
(3)その他	会長	その他の部分で委員の皆様から何かありますか。
	委員	(なし)
	会長	その他の部分で事務局から何かありますか。
	事務局	次回の審議会につきましては、改めて日程調整をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。
3 閉会	会長	それでは本日の会議はこれで終了といたします。